

顔認証技術の問題点

1. プライバシーを著しく侵害する恐れがある。
(顔認証技術の利用により1個人の行動を追跡することができる)
 - ・ 政治に対する発言がうかつにできなくなる
 - ・ コロナでも感染者の追跡に利用され問題となっている。
2. 偏見や差別を助長する恐れがある。

偏見や差別の助長

顔認証技術のAIが人種差別を行う

- ・ 誤認識率は、いずれも男性より女性の方が高く、白い肌より黒い肌の方が高かった
 - ・ アメリカの警官による黒人差別の助けになる
 - ・ マイクロソフト、IBM、中国の顔認識サービス「フェイス++」の3つのサービス
- 誤認識率が男性より女性の方が高く、白い肌より黒い肌の方が高い。

顔認証技術への規制

- マイクロソフト社の社長が、各国の政府は顔認識技術を規制する法律を制定すべきだと主張
- IBM社が顔認証ビジネスからの撤退
- アマゾンの警察への顔認証技術提供を1年間停止
- アメリカの一部の州や都市が顔認証技術を規制する法律を作ろうとしている。

顔認証技術に必要なこと

社会の変化が必要

- 顔認証技術の特徴に対する一般人の理解
- プライバシー及び顔認証技術に対する適切な倫理観の構成
- 適切な法整備、政府や企業を監視するシステム